

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2025.04.No332

4月号

目次

令和7年定時総会報告……………	1
一級・二級建築士試験合格者の声……………	4
西から東から「静岡県富士市のまち」……………	6
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <https://www.h-ab.com/>

令和7年定時総会報告 令和6年事業報告及び収支決算、 会費規則の改正承認される

日時：令和7年3月19日(水) 14時00分～17時30分
会場：ホテル札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」
(札幌市中央区北1条西6丁目)
代議員：34名中26名出席



提案事項（定時総会の目的である事項）

〔議案第1号〕

令和6年 一般会計事業報告及び収支決算（案）

〔議案第2号〕

令和6年 特別会計事業報告及び収支決算（案）

〔監査報告〕

〔議案第3号〕

（一社）北海道建築士会会費規則改正（案）

〔議案第4号〕

（一社）北海道建築士会運営規則改正（案）

議案第1号～4号の主だった内容は以下のとおり

〔議案第1号〕

◆令和6年 一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務・企画委員会

- ・組織運営の適正化等に係る対応
組織の見直しと会員増強
支部との連携強化
財政基盤の強化
- ・関係機関との意見交換会等の実施
北海道公共建築設計懇談会への対応
全道確認円滑化対策連絡協議会への対応
ほっかいどう住宅フェア実行委員会への対応
北海道と建築関連7団体の意見交換会の実施
- ・建築関係団体との連携
他県建築士会との交流及び情報交換
北海道建築設計会議への対応
五会認定資格（J5）への対応
- ・専攻建築士制度等に関する事項
申請 5名 領域 6領域
専攻建築士審査評議会（web併用）令和6年3月5日
- ・建築士会継続能力開発（CPD）制度の促進
CPD参加登録者 1,085名
CPDプログラム審査評議会 令和6年7月29日
及び同部会の開催（12回）

- ・全道大会（日高大会） 令和6年9月28日(土)
- ・全国大会「鹿児島大会」 令和6年10月25日(金)
- ・表彰の実施
- ・赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「既存住宅状況調査技術者講習」
新規 札幌会場 受講者 8名
更新 札幌会場 受講者 4名
オンライン学習
新規 受講者 66名
更新 受講者 8名
- ・「中大規模木造設計セミナー 実現のための手法編・木造低コスト化編」
実現のための手法編 札幌会場 受講者 18名
木造低コスト化編 札幌会場 受講者 17名
- ・「発注者・設計者・監理者・施工者のための建築技術者が知っておきたい施工の心得」講習会
札幌会場 受講者 4名
- ・建築士がマンションの未来を変える大規模修繕「修繕の心得」講習会
札幌会場 受講者 10名

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」（317号～328号発行）
- ・ホームページの運用
- ・全道大会（日高大会）の協力

◎ まちづくり委員会

- ・全国まちづくり会議及びまちづくり委員長会議への参加
開催日 令和6年2月23日
開催場所 熊本市
参集規模 各士会まちづくり委員長他 70名程度
- ・地域におけるまちづくり活動の推進と支援
まちづくりフォーラム
開催日 令和6年6月22日
開催場所 旭川市中心市街地・旭川市公会堂

参集規模 全道及び全国の会員、市民 46名

- ・高校生建築デザインコンクールの実施
- ・高校生「建築甲子園」の実施
- ・景観整備機構の運営と、他景観行政団体への指定申請
- ・全道大会（日高大会）への取り組み

◎ 災害対応委員会

- ・被災地応急支援ネットワークの構築
- ・応急危険度判定の普及及び訓練への参加
- ・応急危険度判定講習会の講師登録制度の運用
- ・応急危険度判定地区協議会への協力

◎ 青年委員会

- ・全道青年委員会連絡会議
開催日 令和6年3月30日
開催場所 札幌市
参集規模 全道各支部 63名
セミナー一般参加者 16名
- ・青年建築士の集い
開催日 令和6年5月18日
開催場所 小樽市
参集規模 全道各支部 60名
- ・ブロック協議会活動の展開
- ・全道大会の運営
- ・日本建築士会連合会青年委員会への委員派遣等
- ・社会貢献及び建築士会周知に関する活動
開催日 令和6年6月29日
開催場所 北海道各地にて開催（各ブロック）
参集規模 一般市民500名程度

◎ 女性委員会

- ・ブロック活動の活性化と地域会員の増強を図る勉強会・見学会を含めた活動を支援
全道の女性会員とのネットワーク作りの為の活動
- ・広報誌の編集
- ・「全道女性建築士の集い」の企画・開催
開催日 令和6年9月7日
開催場所 江別市
参集規模 23名参加
- ・全国女性委員長会議
開催日 令和6年7月15日
開催場所 東京都
- ・全国女性建築士連絡協議会
開催日 令和6年7月14日・15日
開催場所 東京都
- ・全道大会（日高大会）ワールドカフェお手伝い
- ・社会貢献に関する事業

◎ 会員増強特別委員会

- ・建築士会の会員増強と組織の強化

◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・第1回フォローアップ講習会（札幌市開催）
開催日 令和6年10月5日 参加者 22名
- ・第2回フォローアップ講習会（函館市開催）
開催日 令和6年11月16日・17日 参加者 14名
- ・第3回フォローアップ講習会（札幌市開催）
開催日 令和6年12月14日
参加者 28名（Web参加含む）
- ・歴史的建造物の調査の実施
- ・『文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習会』事業』に関する準備・検討
- ・歴史的建造物の劣化度調査の実習に関する企画
- ・歴史的建造物に関するイベントの開催協力

◎ BIM推進特別委員会

- ・オンラインセミナー「doBIM」
第1回令和6年4月16日
「手戻りしない『省エネ』に対応した企画設計・基本設計」 参加 35名
- 第2回令和6年7月16日
「3Dプリンタ活用に向けたはじめの一步」 参加 15名
- 第3回令和6年10月22日
「BIMデータ活用のための共有方法について」 参加 20名
- 第4回令和6年12月17日
「2026年BIM図面審査開始とその先を見据えて」 参加 35名
- ・ハンズオンセミナーの開催
開催日 5月24日「初級編」「施工編」
参加者 14名
開催日 12月5日 BIM寺子屋（Archicad編）
参加者 27名（初級コースA：6名、初級コースB：7名、中級コース：8名、上級コース名：6名）
- ・委員会内BIM関連情報セミナーの開催

『事務局所管事項』

区 分	受験者数	合格者(合格率)
二級	学科	750 189名(25.2%)
	製図	296 118名(40.8%)
木造	学科	7 0名(0.0%)
	製図	1 1名(100.0%)
一級	学科	850 145名(17.1%)
	製図	243 31名(21.0%)

- ・一級建築士登録等の業務
新規 80件 事項変更等 156件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 88件 事項変更等 147件
- ・応急危険度判定士認定関係
12月末有効認定者数 2,474名
応急危険度判定士認定講習会
1月～12月 15会場開催 受講者 362名
- ・建築士定期講習
11会場開催 受講者 633名
- ・監理技術者講習
3会場開催 受講者 68名
- ・「第55回建築基準法講習会」
21会場 受講者 1,184名
- ・「木造軸組工法中大規模木造建築の構造設計演習」
開催日 令和6年11月7日・8日
開催場所 札幌市 受講者 21名
- ・「建築士のための住宅紛争処理支援セミナー」
開催日 令和6年11月19日
開催場所 札幌市 受講者 11名
- ・「建築BIMマネージャー・コーディネーター育成のためのセミナー」
開催日 令和6年11月21日
開催場所 札幌市 受講者 75名

「議案第2号」

◆令和6年 特別会計事業報告

- ・北海道建築士会地域貢献活動センター事業報告
地域貢献活動基金事業助成申請
審査・選考1団体1事業採択
【(仮)わたしとしごと】(わたしのしごとを伝える会)】

「議案第3号」

◆(一社)北海道建築士会会費規則改正

令和8年会費より、正会員会費15,000円から19,200円へ、準会員会費は12,000円から15,000円への改正案が上程され、本議案については承認される。

「議案第4号」

◆(一社)北海道建築士会運営規則改正

上記、議案第3号が承認されたことを受けて、(一社)北海道建築士会運営規則第25条の支部交付金の第1項を令和8年より正会員1名につき7,320円、準会員1名につき4,920円とすることを承認される。

貸借対照表

令和6年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	79,310,154	77,113,547	2,196,607
未 収 金	6,079,411	6,001,714	77,697
貯 蔵 品	201,759	366,369	△ 164,610
立 替 金	246,380	434,902	△ 188,522
前 払 費 用	782,249	628,725	153,524
流動資産合計	86,619,953	84,545,257	2,074,696
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,042,683	5,522,589	520,094
財政調整資金積立預金	46,927,116	49,663,807	△ 2,736,691
大会積立資産	200,002	100,000	100,002
特定資産合計	53,169,801	55,286,396	△ 2,116,595
固定資産合計	53,169,801	55,286,396	△ 2,116,595
資産合計	139,789,754	139,831,653	△ 41,899
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	0	16,220	△ 16,220
未 払 費 用	313,491	415,056	△ 101,565
前 受 金	5,945,900	5,991,850	△ 45,950
前 受 会 費	21,502,000	21,695,000	△ 193,000
預 り 金	1,168,075	1,191,000	△ 22,925
流動負債合計	28,929,466	29,309,126	△ 379,660
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,042,683	5,522,589	520,094
固定負債合計	6,042,683	5,522,589	520,094
負債合計	34,972,149	34,831,715	140,434
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
負 担 金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	104,817,605	104,999,938	△ 182,333
(うち特定資産への充当額)	47,127,118	49,763,807	△ 2,636,689
正味財産合計	104,817,605	104,999,938	△ 182,333
負債及び正味財産合計	139,789,754	139,831,653	△ 41,899

収支計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費 収 益	70,739,000	69,186,000	△ 1,553,000
事 業 収 益	27,634,000	26,045,411	△ 1,588,589
受 託 収 益	19,542,000	17,755,350	△ 1,786,650
助 成 金 収 益	40,189,000	3,999,785	△ 36,189,215
退職給付引当金戻入	0	0	0
受 取 補 助 金 等	0	0	0
雑 収 益	2,201,000	21,696,486	19,495,486
経常収益計	160,305,000	138,683,032	△ 21,621,968
(2) 経常費用			
事 業 費	125,951,000	110,153,793	△ 15,797,207
講 習 会 等 費	7,513,000	6,206,953	△ 1,306,047
二級・木造建築士登録等業務費	1,324,000	960,018	△ 363,982
継続能力開発制度費	433,000	432,735	△ 265
専攻建築士制度費	91,000	60,748	△ 30,252
その他事業費	9,698,000	9,227,437	△ 470,563
広 報 ・ 情 報 費	8,715,000	7,535,791	△ 1,179,209
大 会 関 係 諸 費	2,513,000	593,979	△ 1,919,021
委 員 会 活 動 費	14,790,000	9,316,309	△ 5,473,691
人 件 費	23,789,000	24,674,322	885,322
受 託 事 業 費	7,893,000	5,129,732	△ 2,763,268
助 成 金	5,764,000	4,676,808	△ 1,087,192
需 要 費	23,275,000	21,084,985	△ 2,190,015
建 築 士 の 日 事 業 費	10,511,000	8,699,904	△ 1,811,096
雑 費	9,642,000	11,554,072	1,912,072
管 理 費	69,474,000	28,191,478	△ 41,282,522
人 件 費	3,949,000	3,653,057	△ 295,943
会 議 費	2,840,000	2,221,142	△ 618,858
旅 費 交 通 費	6,359,000	5,522,738	△ 836,262
需 要 費	2,340,000	1,876,353	△ 463,647
対 外 費	3,120,000	2,601,499	△ 518,501
雑 費	117,000	78,689	△ 38,311
連 合 会 費 等	50,749,000	12,238,000	△ 38,511,000
事業活動支出計	195,425,000	138,345,271	△ 57,079,729
事業活動収支差額	△ 35,120,000	337,761	35,457,761
2. 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入	3,170,000	2,890,000	△ 280,000
特定資産取崩収	3,170,000	2,890,000	△ 280,000
(2) 投資活動支出	1,150,000	773,405	△ 376,595
特定資産取得支	1,150,000	773,405	△ 376,595
投資活動収支差額	2,020,000	2,116,595	96,595
3. 財務活動収支の部			
(1) 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(2) 財務活動支出	0	0	0
他会計支出計	40,000	0	△ 40,000
予備費支出	25,529,000	0	△ 25,529,000
当期一般正味財産増減額	△ 58,669,000	2,454,356	61,123,356
前期繰越収支差額	40,511,000	55,236,131	14,725,131
次期繰越収支差額	△ 18,158,000	57,690,487	75,848,487

監査の目

令和6年1月1日から12月31日までの収支及び財産の状況、理事の職務執行について、法令及び定款に従い適正に処理、運営されていることを確認致しました。

今年度は道士会から初めての女性会長が誕生しました。各委員会はコロナを経験して、より多彩で会員ひとりひとりに届く活動になりました。

全道・日高大会は、参加者全員に発言の機会がある「ひだカフェ」という新発想で運営されたこと、全

国・鹿児島大会は北海道から96名の参加があり、地域実践活動報告にて、青年委員会の「建築士お仕事体験フェス」が最優秀賞に輝く快挙でした。女性委員会は、継続活動の住教育、集いに加えて、地域貢献活動センター助成金事業「わたしのしごとを伝える会」を実施しました。HM特別委員会は修了生対象のフォローアップ講座、BIM推進特別委員会のdoBIMseason8の開催、事業委員会の新規事業、まちづくり委員会の支

部との共催事業、災害対応委員会の講師登録名簿の作成など、次年度への準備も進めています。

最後に、会費の改正を皆様により理解していただく為に財政健全化タスクフォースを立ちあげ、代議員・支部に説明を実施して参りました。

北海道建築士会の新時代にご期待ください。

伊藤 隆英・早川 陽子

一級建築士になるまで

加藤 学希 (旭川支部)



皆様初めまして。北海道建築士会旭川支部所属の加藤学希と申します。現在は28歳で社会人10年目となり、10年という節目の年に一級建築士試験に合格できたこと、大変嬉しく思います。

この業界に入ろうと思ったのは小学生の頃で、通学路にある工事現場を見て興味を持ちました。中学生の頃に漠然と人生プランを考え20代で一級建築士を取得することを目標に、高校卒業後今の仕事に就きました。

21歳の時に二級建築士試験を一発で合格することができ、そのまま一級建築士試験も一発で合格できるかと思っていましたが、初挑戦は学科が総得点で1点足りず製図に挑戦することすらできませんでした。通学費でどんどん減っていく通帳を見ながらなんとかしなければと決心し、翌年に何とか学科は通過しました。しかし製図では二級のときとは明らかに違う作図量と問題の難しさに面を食らい、製図1年目はランクⅣ、2年目はランクⅢと残念な結果に

終わりました。100%の力を出し切ったおかげでショックも大きく気力も尽きていたため、1年間休息期間を設けて4年目に最後の挑戦をしました。4年目の年は9月に子供が産まれたこともあり10月の試験までのラスト1か月は睡魔と闘いながらペンを握っていたのは忘れられない思い出です。試験当日は緊張していませんでしたが、課題にサプライズがありかなり焦ってしまいました。時間もぎりぎり、勉強してきた分減点箇所が自分でわかったので正直不合格だろうと思っていました。合格発表日当日は自信も無かったので午後にも確認してみようと思っていましたが、学校の担当者から電話があり無事合格していました。家族や知人に連絡を取っていくうちに一級建築士になれたのだと実感しました。

一級建築士はたくさんの人が挑戦し挫折する難しい資格だと思っています。私も家族や周りの人達の支えのおかげで合格できました。高齢化の影響で有資格者の数も減ってきて働き手も少ない状況だと思っていますので、今挑戦している方々にはなんとか頑張っ合格していただき、建設業界の発展につながってほしいと思います。

1級建築士合格までの道のり

事務局長 佐藤 将吾 (士別支部)



士別支部の佐藤 将吾と申します。原稿依頼が来てしまいましたので、あまり思い出したくはないのですが、1級建築士合格までの道のりを書かせて頂きます。

まず、社会人1年目で2級建築士に合格できたため、いずれは1級に挑戦しようと思いつつ、いつの間にか10年が経ち、自治体に転職し30代になったころ、これといったきっかけは特に無く、意を決して本格的に勉強開始。

学科の参考書を買ひ、2月頃から夜な夜な勉強の日々を過ごし試験へ。しかし、結果は計画で1点足りず足切り不合格。2度目は苦手な計画の建築史もしっかり覚え無事合格。

学科さえ受ければなんとかなるだろうと思っていたが、それが大きな間違い。

製図試験からは、車で1時間かけて学校に通い挑戦。プランや作図の学習に加え、記述など覚えることも多く、学科より大変な思いをしながら、いざ製図試験へ。

1度目はプランが早くでき、描き上げることはできたが、そう甘いものではなく当然の不合格。

2度目は、プランがまとまらず、試験中泣きそうになりながらなんとか描き上げたが、要求主要室が1つ抜けていたことに試験後気づき愕然の不合格。

もうあとがない3度目、なんとか描き上げたが、高さ制限違反に試験後気づき呆然の不合格。

これで振り出しに戻ってしまい、心が折れながらも、次の年も一応試験に申し込み。

試験2週間程前から以前の参考書を見直す程度で学科受験へ。結果はもちろん不合格。しかし、1点足りずでなかなかの善戦。これは次年も軽めの勉強でいけると思い、再チャレンジも全然ダメ。次こそはとしっかり勉強して挑み、なんとか学科合格。その間に子どもも誕生。

再チャレンジ1度目(4度目)の製図も学校に入校。3年のプランクがあり、作図スピードも落ちていましたが、必死で作図や記述の勉強に取り組み、いざ本番。

早々にプランがまとまり、時間があつたので、最終の見直しで、よかれと思い吹抜を追加。しかし、その吹抜に壁穴区画の記入忘れに試験後気づき当然の不合格。

再チャレンジ2度目(5度目)の製図。このころになると週末1時間かけて製図学校に通うのがライフワークに。今度こそはとの思いで、学校の課題をひたすらこなして、いざ本番へ。

プランも難しくギリギリでなんとか描き上げ終了。試験後の見直しでも重大な不適合はなく、久々に12月の合格発表まで、ドキドキ……。

結果は合格。

嬉しさ以上に、やっと終わったという気持ちの方が強かったです。

学科5回、製図5回の8年間、とても長く壮絶な道のりでしたが、最後まで諦めず挑戦し続けた結果は、今は小さな息子が大きくなった時に、胸を張れるかなと思います。

二級建築士

谷口 舞奈 (旭川支部)



初めまして、北海道建築士会旭川支部所属の谷口舞奈と申します。この度は北海道建築士会より二級建築士合格者の声ということで原稿依頼を頂きました。恐縮ではありますが寄稿させていただきます。はじめに、私が建築の道へ進むきっかけになったのは、両親も建築に携わる仕事をしていて小学生の時に職場見学をさせてもらったことです。男性が多い職場で誰よりも一生懸命仕事をしている母の姿と、父の工場リーダーとして指示を出しまとめている姿がかっこよく憧れへと変わり、その日から私の建築への道が始まりました。その後、北海道旭川工業高等学校建築科に入学し、卒業後は補償コンサルタントの業界で6年間勤めました。現在は住宅の施工管理の仕事をしています。私が初めて二級建築士を受験したのは補償コンサルタントの仕事をしていた時です。学生の頃から自習をしたことがない私はとても苦勞しました。初受験の年はとにかく仕事が忙しく出張も多かったため、仕事のせいにして勉強を怠っていました。結果は建築構造で1点足りず不合格に。1点に泣いたのが何とも言えない気持ちになりその後は受験することを諦めていました。それから数年後、再就職を機にまた頑張ってみようと思いついて受験しました。その時は学科試験合格、設計製図試験で不合格…。設計製図試験からは学校に通って勉強を進めていました。設計製図試験当日はプランニングも早い段階から固まり、1時間以上確認に充て

ることができたため合格者一覧に自分の番号がないのを見たときは、落ちた悔しさよりも、来年は今年以上に頑張れるのかととても不安になりました。翌年の課題はRC造でした。仕事でもRC造にはふれたことがなく、今まで勉強してきたのも木造だったため自信を無くしていましたが、自分を奮い立たせて翌年の受験を決め学校に通いました。勉強を進めていくと、木造の時とプランニングはあまり変わらず、作図スピードも線が少ない分、木造よりも早く書くことができる。と少しずつ自信を取り戻していききました。しかし、試験当日…プランが固まらず、時間だけが過ぎていきました。そろそろ作図に入らないと書き上げられないと思い、固まっているプランのまま何とか書き上げました。そんな図面だけあって、不安な気持ちだけが残り残りました。そして発表当日、奇跡が起きました。合格者一覧になんと自分の番号がありました。嬉しくて色んな人に報告したことは今でも思い出です。通っていた学校の方からも連絡をもらい、設計製図試験は何があるか分からないから駄目だと思っていた時に案外受かったりするんだよと言われ、少しすっきりした気持ちになりました。不思議なことに怒涛の勉強期間も数カ月経てば思い出となり、終わり良ければすべて良しとはこのことかと今では思えます。最後に今回合格できたのも平日の夜や土日に勉強時間を作るように配慮してくれた職場の方のおかげです。感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思

います。長文となりましたが読んでいただきありがとうございます。ありがとうございました。

2級建築士としての始まり

安達 七海 (士別支部)



初めまして、と書こうとして支部加入時に寄稿していたことを思い出しました。当時は“技師”として勉強の日々！など書かれており、なんだか初々しさを感じました。そんな私もこの4月で入庁5年目。そして2級建築士に挑むこと4回目にして合格することができました。再び寄稿依頼をいただいたので、振り返りつつ残します。

記念すべき初回。受験資格の改定があり、実務経験より先行して受験できる年だった。同級生達と申し込んだものの「社会人1年目で余裕がない」を理由に、会場の空気を吸って散った。

2回目。勉強するにも、方法が全く分からず「2級建築士 勉強方法」と(いかに楽をして学べるかを優先に)ネットの力を借りる。見つけた勉強方法に従い、早速テキストを購入。予定を立てた。毎日過去問3問。たったそれだけ。しかし、長年の悪癖である3日坊主の壁に当たり、チリは積もらず…。テキストを解き終えることなく試験日を迎えて散った。

自分は文系だと気づいた3回目。前回のテキストもあるし今度こそ、と。3日坊主に惑わされながらひたすら勉強。ここで次なる壁「構造」に衝突。計算がまるで理解できず、またもやテキストすべてを解き終えることなく散った。

そして4回目。連続しての受験予定だったが、申込みを忘れた。「職場での存在意義がなくなる」と頭を抱えると同時に「次回散れない」と悶々とした

1年を過ごし迎えた4回目。この枷もあり、ずっと使用してきた愛用のテキストを4回目にして解き終え、学科に挑んだ。初見の問題が多く、試験直後は「また来年か」と肩を落としていた。が、自己採点で合格ラインに。このとき、どこかで今合格できちゃうのではと思っていたような気がする。

学科を終え、やっと一息…がつけぬまま某学校から製図の営業。片道3時間の通学が決まっていた。職場の協力を得て、大先輩に譲り受けた製図板を担いで毎週通う日々。長時間座って描くことに抵抗はなかったが、エスキスがおさまらず。正解の無い試験に対し、本番まで正解を探し続けたのは、もうそういう性分なのだと思う。

試験までの2ヶ月はあっという間で、迎えた試験日。緊張で狂いそうだったが、いざ試験開始、と問題用紙を見て「苦手なプランだあ」と良くも悪くも力が抜けたのを覚えている。案の定エスキスで詰み、作図と並行する危険な橋渡り。終了間際に不整合を見つけて消しゴムを持つも、時計とにらめっこをして5時間の試験が終了。2ヶ月の苦行の成果がこれかと、早速の不整合を見つめながら浸っていた。合格発表まではその回答が何度も夢に出てきては苦しめられた。

合格発表は、職場の方々と一緒に確認した。見守ってくれた職場、そして家族の支えがあってこそ結果だと感じた。

やっと立てたスタートライン。先輩方はまだまだ先にいますが、追い抜くつもりで「建築士」としてこれからも勉強に励んでいきます。改めて建築士の一員としてよろしくお祈りします！



岩浪 治郎 (前札幌支部)

昨年からは北海道を離れて東京に来ておりますが、年末からは静岡県富士市にて工事に携わっております。今回は北海道を飛び出して静岡県富士市よりお送りいたします。



(富士市の位置：富士市ホームページより転載)

■ 富士市と聞いてもピンとこない

富士市と聞いて、ピンと来る人がどのくらいいるの分かりませんが、富士山の真南に位置する製紙業をはじめとした工業の盛んなまちです。

私は札幌出身ですが2013年頃から釧路市に2年ほど居たことがあり、そのときの住所が釧路市新富士町でした。あれ？富士市と新富士町って関係がありそうだなと思い調べたところ、どうやら関係ありのようです。

余談ですが、釧路市にいた時に、現情報委員長の前田さんと一緒にお仕事をさせていただきまして、その節は大変お世話になりました。こっちの話の方が面白いかもしれませんが、この場で話せるような内容でもなく、誌面も足りなそうなので、また別の機会に。

■ 富士市と新富士町

1887年（明治20年）に静岡県富士郡（現在の富士市）に富士製紙が設立されたことに遡ります。第一工場の操業後、北海道に工場を拡大し、富士製紙釧路工場（現在の日本製紙釧路工場、残念ながら2021

年操業停止）が現在の釧路市新富士町で操業を開始したのが1920年のことです。

釧路工場操業当時、運搬手段は専ら馬車軌道でしたが、この労力が多大のため、富士製紙が請願して1923年に開設された駅が、根室本線の「新富士駅」なのだそうです。

富士製紙の富士を名称に用いたものの、静岡県富士市にある東海道本線の富士駅が既に存在するため、新富士駅となり、さらに駅名にちなんでこの地域を「新富士町」と呼ぶようになったらしく、親戚の親戚みたいな話ですが、富士市と新富士町は関係ありと言えます。

■ 富士市というまち

富士市に来て、まず目に入るのがやはり富士山です。本当に度肝を抜かれるでかさです。何だか神様を感じるというか、超次元の存在感は圧倒的です。空気が澄んでいる冬場の頭が白い富士山は一生に一度は見たいですね。一見して「すごーい」というベタな言葉しか出てきませんでしたが、とにかくすごいから仕方ありません。夕焼け空の「赤富士」も地元の人からおすすめされていますが、いつか見てみたいものです。

まちの印象で気づくのが、道民にとっては非常に狭い道幅です。一方バス路線も使い勝手が良いとは言えず、完全に車社会になっていて、地元の人が「けっばこ」と呼ぶ箱型の軽自動車をたくさん見かけます。私も乗っています。

気になるグルメですが、私は田子の浦漁港の「生しらす丼」がおすすめで、海を眺めながら食べる海の幸は最高です。お土産には地元のお菓子屋さん「田子の月」が製造している「富士山頂」の評判がいいですね。

札幌から飛行機・新幹線と乗り継いで7時間くらい掛かりますが、足を運ぶことができましたらご参考まで。



夢の大橋から眺める富士山

札幌支部

法改正セミナー、建築士受験者講習会

事業委員会

重永 真孝



(一社)北海道建築士会各支部に所属する会員の皆様、札幌支部事業委員会の重永と申します。

現在、支部事業委員会で行っている活動内容をご紹介します。

1. 法改正セミナー

2025年4月1日から建築基準法ならびに省エネ法改正が施行となり、国交省ほか関係団体で開催中の講習会と並行して、昨年12月25日に支部主催での法改正セミナーを開催しました。

2部構成で行い、前半は北海道ならびに札幌市から講師をお招きし、法改正概要や審査手続きに係る留意点などを講和頂きました。後半は、支部で講師を担い、木造壁量計算や省エネ法計算について、北方型住宅をモデルにした具体的なエクセルツールで手順を追って説明を行いました。

4月以降には、実際に提出された確認申請図書や省エネ審査書類に係る具体的な課題や留意点が浮き彫りになってくることを鑑み、新年度に入ってから第2回目のセ

ミナー開催を企画し、スムーズな建築審査につながるよう、バックアップしていきたいと考えております。

2. 建築士受験者講習会

一級・二級建築士学科受験者を対象に、毎年5～6月毎週土曜日に支部主催で講習会を実施しています。科目毎に開催しており、1科目のみの受講も可能です。

また8月の毎週土曜日には、二級建築士製図の講習も開催しています。

今年度、建築士試験を受験される方がいらっしゃいましたら、是非参加ご検討ください。

建築士取得後は、建築士会へ入会して頂き、若手・ベテラン共に継続的なスキルアップを図っていければと考えています。

3. 各種セミナー

毎年行っているのが、建築塗装セミナーです。WEB開催のほか、面前開催の時は、セミナー終了後に意見交換会を開催して、塗装の知識と懇親を通じて情報交換を行っています。

また、去年は亜鉛メッキセミナーを行い、メッキ工場を見学し、メッキ工程と施工上の留意点など

を体験学習しました。

今後の新企画としては、常日頃から災害時に備えておく必要があることから、防災セミナー開催を検討しています。具体的な企画検討はこれからですが、建築士としても知っておくべき防災知識などを学べる機会となればと考えております。

4. 他支部、他団体との交流

少子高齢社会に突入し、各団体とも会員数減少の課題を抱えているなか、事業を一緒に行うことで、予算やマンパワー不足解消のほか、新たな視点でのスキル向上も図れる可能性を秘めています。具体的な企画はこれからですが、他支部の皆様とも意見交換を交えながら、楽しい企画が出来れば良いと考えております。



建築塗装セミナーの様子

遠軽支部

遠軽支部の会員間交流について

事務局長

菊地 浩之



春日の候、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。遠軽支部事務局を担当しています菊地と申します。このたび、会誌の「coffee break」に掲載頂けるとのことで、自分が担当する運びとなりました。どうぞ宜しくお願いします。

遠軽支部では、総会も整い無事に新年度をスタートしたところです。昨年、今年と若い新規会員も加入してくれましたので、会員間の交流など、楽しみを作るうえでも事務局が頑張らねばと思っているところです。そこで、楽しく遠軽支部の運用を行うため、いくつかの行動を実行したいと考えています。

今年から建築基準法の改正で、確認申請の手続きが変わることも

あり、昨年11月に法改正に向けた研修会を催しました。研修会には、会員、賛助会員を含め、関係者18名が参加し、改正の概要などを共有することが出来ました。次は、確認申請に必要な図面、必要な書類、書込みなど、より具体的な研修会として開催し、遠軽支部会員皆で情報共有を図りたく思っています。遠軽町では限定特定行政庁の業務を行っており、行政担当者と情報を共有することで申請側も、確認側も、認識が同じであれば、手続きがスムーズに整うことが多くあると思いますので、今後も継続してこのような会が開けると良いなと思っています。

また、現在遠軽町では総合庁舎を建設中で、施工中の現場を遠軽支部で見学させていただけるよう働きかける予定です。支部内で稀に見る金額と規模の建物ですの

で、実際の現場を見て、技術知識などを広げられる催しが出来ればと考えています。現場見学を行うこともそうですが、会員間の意見交換の場を増やすことで、仕事に直結する知識を増やし、互いの相乗効果も期待できる会食等の機会も作れればなと思っています。

皆が楽しんで会に所属していただくために、どのようなことを実行すれば良いかは手探りで、全会員が「所属していてよかった」と言える会にできないか非常に難しい状態ですが、会員の意見を聞きながら、より知識、情動的にも得のある会と出来るように努力していこうと思います。

結びに、新年度が始まり多忙な日々が続くこととお察しいたします。季節の変わり目、北海道建築士会会員皆様もどうぞお体に気をつけてお過ごしください。

道士会の動き

本部の主な会議報告（3月）

- ◆第1回役員会
（開催日）4日（火）
1）令和7年第1回理事会議案
- ◆第2回BIM推進特別委員会（Web）
（開催日）5日（水）
1）令和7年事業活動計画
- ◆第1回理事会
（開催日）11日（火）
1）令和6年一般会計予算の補正及び流用（案）
2）令和6年一般会計事業報告及び収支決算（案）
3）令和6年特別会計事業報告及び収支決算（案）
（監査報告）
4）定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
5）（一社）北海道建築士会会費規則改正
- ◆令和7年全道青年委員会連絡会議
（開催日）29日（土）
1）令和6年事業報告、決算報告
2）令和7年事業計画、予算説明
3）連絡会議研修会ワークショップ「未来の青年」

本部の主な行事予定（4月）

- 5日（土） まちづくり会議
- 12日（土） 第1回事業委員会
- 15日（火） 第1回女性委員会小委員会（Web）
- 19日（土） 第1回情報委員会
- 26日（土） 第1回災害対応委員会

講習会・セミナーのご案内（4月）

監理技術者講習

16日（水） 札幌市

CPD認定プログラム（3月認定）

- ◆2025北海道建築士会まちづくり会議
《日程及び会場》4月5日（土） 14：30～18：00
かでの2.7 730研修室（札幌市）
- 《単位数》 3単位
- 《問合せ先》
（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076

編集後記

年々会員数減の傾向であること、全てにおいてインフレによる物価上昇がとまらないため、だれもが望んでいない会費UPについて、本部理事会にてタスクフォースの立ち上げ、さまざまな角度からよりよい会にするためのシミュレーションを行い、理事会にて適正な会費UPを定め、各支部との協議を重ねた内容が、令和7年定時総会報告で触れられる予定でございます。各支部でもいろんなご意見等はあるとおもわれますが、建築業界の現在～未来をあかるくしたい思いは全建築士会員の共通認識であり、そのために必要な会費UPと理解されることを願っております。 情報委員会 委員長 前田 繁（釧路支部）

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 4月パスワード：Nak054

インターネットによる 建築士名簿閲覧が可能に

これまで建築士名簿は、閲覧所における閲覧に限定されていたところ、令和7年4月1日よりインターネットによる建築士名簿の閲覧が可能となります。閲覧所（北海道建築士会本部）による名簿閲覧も引き続き可能です。

閲覧項目：登録番号、登録年月日／氏名／試験合格年月日、合格証書番号／処分履歴／法定講習履歴／（一級のみ）構造設備一級建築士証番号等

【注意】
建築士名簿は、建築士の住所や連絡先がわかるものではありません。建築士の連絡先など個人情報や登録情報について、本会では一切回答しません。

詳細、閲覧についてはホームページをご覧ください。
一級建築士：（公社）日本建築士会連合会
二級木造建築士：（一社）北海道建築士会

令和7年（一社）北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 令和3年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員（応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります）
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

令和7年5月23日（金） 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面（平面図・断面図・配置図等）及び完成写真（内・外装）等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。（応募作品は返却しません）

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.337」に掲載します。
※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

情報委員会委員長／前田 繁
副委員長／村山 賢司・立花智亜喜
委員／角張 隆昌・津山 浩
奈良岡 修

北海道建築士 No.332号

印刷 令和7年3月／発行 令和7年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番